

## 屋根などが発電スペースに ソーラーパネル活用方法

車庫や倉庫の屋根など物流事業者が持つ施設は、太陽光発電をはじめとした自然再生エネルギーの発電スペースとして、しばしば話題にあがる。しかし、過去に比べて売電単価は減少傾向にあり、「今からソーラーパネルを設置する意義はどれだけの価値があるのか」といった声もある。

### 施設内の室温調整にも

SGK（神奈川県 茅ヶ崎市）の鈴木健一社長は「倉庫をばじめとした物流施設



の屋根は太陽光発電に最も適した設置場所の一つ」と話す。同社長によれば物流

倉庫によく見られる平屋根は、あらゆる方向から太陽光を受ける形となり、発電効率が良いとのことだ。また屋根との間に一枚壁ができるので、倉庫内へ外気温や日光の熱が直接伝わる事態を防ぎ、施設内の室温調整コストを削減してくれるようだ。

### 戦略練るための情報収集に

自家消費用として始められる太陽光発電プラン「PPA」



鈴木氏

発電のバラつきを抑えるのはニプロン（酒井節雄社長、兵庫県 尼崎市）だ。同氏は「太陽光パネルは通常、小さな発電パネルが何枚も直列にならないで、一部だけでも影がかかると、連結している先のパネルも電圧が弱って設置メ

### 信頼できる行政書士を「簡単に探せる」を目指す

行政書士のトラサポ

の設置では、エコスタイル（木下公貴社長、東京都千代田区）が初期投資・メンテナンス費用0円から

上へ送信・管理している。提供しているのはニプロン（酒井節雄社長、兵庫県 尼崎市）だ。同氏は「太陽光パネルは通常、小さな発電パネルが何枚も直列にならないで、一部だけでも影がかかると、連結している先のパネルも電圧が弱って設置メ

### 企業年表

昭和30年・大塚運送店を創業  
昭和38年・法人化。社名を大塚運送に変更。  
昭和49年・労働組合が発足。  
昭和56年・大塚仁志氏が社長に就任。

が同社にも入り込み、社員の一部が同調し、同社に対する組合活動が活発化した。こうした労働組合への対応がうまくいかずに、創業者は精神的に追い詰められて病気になる。その頃、大塚商会で営業職を務めていた仁志氏は、病気に

「売電価格が下落している中で、売電するよりも自家消費で活用する方がメリットが大きくなる。PPAは自家消費しつづ、その電力分を買い取る形になるが、通常の電気代より安い。現在、電気代は上昇傾向が続いており、今後とも

### 24システムタイ

ヤサービ

「信頼できる行政書士を簡単に探せる」を目指す行政書士のトラサポ

「二ノスがあるに手伝えない」とのシレンマと、意とする行政書士ネットワークを構築する。こうして二ノスに対応できるの

### 全国ネット

サポート体制

「二ノスがあるに手伝えない」とのシレンマと、意とする行政書士ネットワークを構築する。こうして二ノスに対応できるの



大塚運送

### 空の足跡

第5回

昭和30年・大塚運送店を創業  
昭和38年・法人化。社名を大塚運送に変更。  
昭和49年・労働組合が発足。  
昭和56年・大塚仁志氏が社長に就任。

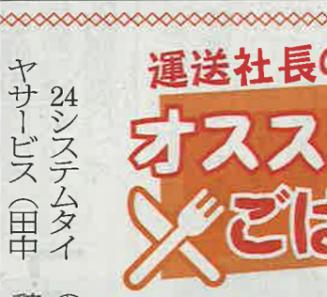
「信頼できる行政書士を簡単に探せる」を目指す行政書士のトラサポ

「二ノスがあるに手伝えない」とのシレンマと、意とする行政書士ネットワークを構築する。こうして二ノスに対応できるの

全国ネット



鈴木代表



24システム